

中海 エコ活動 レポート

中海の環境保全活動と
ワズユースを紹介します

第25号
令和元年11月



OWSは、海や川、湖といった自然の水の中で行われる長距離泳のことで

北京オリンピック（平成20年）の正式種目となって以降、注目度が高まっている競技です。

OWSは水質、天候、潮の干満等、自然条件の影響を受けるため、プールで行う競泳とは異なる技術や知識が必要とされています。

本大会は、「10年で泳げる中海」を目標に、水質改善に取り組んできた市民活動の10周年を記念して、平成23年6月に第1回大会が開催されました。

現在では、中海の環境PRのみならず、国内の代表的OWS大会として、中海圏域のスポーツツーリズムイベントの中心のひとつに成長しています。

泳げるようになった中海を体感

～中海OWS 2019～

中海オープンウォータースイム（OWS）が令和元年6月23日に開催されました。

会場となった湊山公園沖の米子港内では、全国から参加した198名が、泳げるまでに回復した中海の環境を体感しました。



■お問い合わせ 鳥取県西部総合事務所地域振興局西部観光商工課
〒683-0054 米子市靴町1丁目160 電話 0859-31-9629・9769

米子水鳥公園に渡り鳥の季節がやってきました！

米子水鳥公園の主役、コハクチョウが飛来しました。米子水鳥公園はコハクチョウのねぐらになっており、朝の7時～8時頃に安来市の水田地帯に向けて次々と飛び立って行く姿が見られます。

コハクチョウは体長約120cm、翼長約200cmの大型のカモ類です。体全体が白く、先端が黒く根本が黄色いくちばしが特徴です。

夏は米子から約4000km以上離れたロシアのツンドラ地帯で繁殖し、10月頃に越冬のために米子水鳥公園に飛来します。

中海周辺では毎年1,000羽以上のコハクチョウが飛来します。

▼飛び立つ「コハクチョウ」



◀ 米子水鳥公園で確認された「ヒシクイ」

国の天然記念物に指定されており、山陰地方では観察数の少ないカモ類。

先端に少しオレンジ色の模様がある黒いくちばしが特徴で体長約85cm、翼長約160cmとかなり大型です。

■お問い合わせ 米子水鳥公園

〒683-0855 米子市彦名新田665 電話 0859-24-6139

川から中海をきれいに！～加茂川・中海遊覧船から見た中海～

中海に繋がる旧加茂川でボランティアとして清掃活動をしている住田濟三郎さんをご紹介します。

住田さんは、遊覧船の船頭として16年前から加茂川・中海の魅力を広めているだけでなく、旧加茂川の上流から流れてきたペットボトルや缶、ビニール袋などのゴミを毎日回収しています。

中海に流入する旧加茂川のゴミを回収することで、中海の環境改善につながるだけでなく、加茂川・中海という貴重な資源の維持につながると考えて活動されています。

「他の川でも同じように、川でゴミを回収できれば一番良いが、回収する人がおらず難しい。皆が無関心であってはならない。きれいな中海にしようという意識を持ち、中海につながる川にゴミを捨てないようにして欲しい。」と語ってくださいました。

中海の環境だけでなく、中海につながる川にも意識を向けてみてみませんか。

◀ 回収された旧加茂川に流れていたゴミ

■お問い合わせ 加茂川・中海遊覧船 船頭 住田

〒683-0822 米子市中町 遊覧船乗り場

電話 090-6837-2731



▲ ゴミを回収する住田さん



米子市成実地区での環境にやさしい農業の取組

中海の水質改善を進めていく中で、米子湾の水質改善は特に重要であることから、鳥取県では降雨や事業活動等により、米子湾流域の市街地や農地から流れ出る汚れの削減を重点的に取り組んでいます。

今回、米子市成実地区で実践されている、環境にやさしい農業の取組の一つである「浅水代掻き」^{あさみずしろかき}をご紹介します。

環境にやさしい農業の取組

中海への環境負荷の低減のため、水稻栽培で濁水（肥料含有水）の流出防止や浅水代掻き、側条施肥田植機の導入などを推進しています。

<浅水代掻き>

土が8割、水面が2割程度見える状態で行う代掻きで、肥料を含んだ濁水が圃場の外に流出することを抑えます。

環境にやさしいだけでなく、圃場の均平が取りやすくなることにより、雑草の減少、苗植付精度の向上などのメリットがあります。



▲ 旧加茂川に流れ込んだ濁水



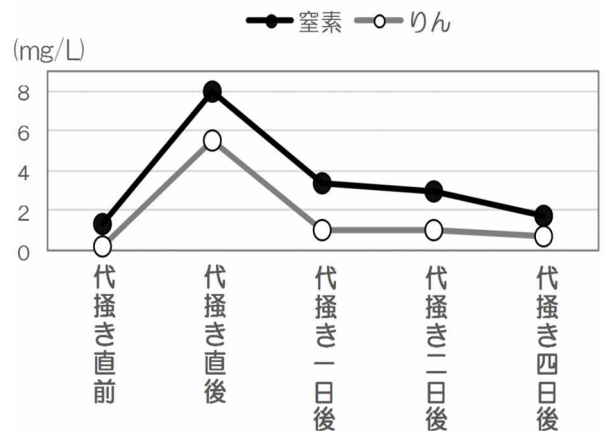
<浅水代掻きの効果検証>

今年5月、米子市成実地区の約29aの圃場において、浅水代掻き前から田植え前までの4日間、圃場の水の水質を測定し、各種項目の濃度変化について調査を行いました。

その結果、右のグラフのとおり、代掻き直後に窒素、りんについては濃度のピークがあり、徐々に濃度が低下していくことがわかりました。また、浅水代掻きを行うことで代掻き直後の濁水が少なくなり、環境負荷の低減に加えて、肥料成分のロスを防ぐこともわかりました。

今後も引き続き、農地対策の効果について検証していくこととしています。

代掻き前後の窒素・りんの濃度変化



<普及啓発>

鳥取県ではこの活動の普及啓発のために毎年5月～6月ごろにのぼりを掲揚しています。

のぼりの掲揚されている近くの圃場では浅水代掻きを行っていますので、注目してみてください。

■ お問い合わせ

鳥取県水環境保全課

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220

電話 0857-26-7870



営農者のみなさん、ぜひ環境にやさしい農業を実践してみませんか？

第7期中海に係る湖沼水質保全計画(素案)について

ご意見をお寄せください



募集締め切り

令和元年 11/28 (木)

鳥取・島根両県では、中海の水質を改善し、おおむね令和15年度までに長期ビジョンの実現を図るため、令和元年度から5年間を計画期間とする第7期中海に係る湖沼水質保全計画を策定します。

このたび、当該計画の素案を作成しましたので、県民の皆さまのご意見をお寄せください。

1 計画(素案)の入手方法

■鳥取県側

・鳥取県庁水環境保全課のホームページからダウンロードできるほか、県庁県民参画協働課、各総合事務所、日野振興センター及び県立図書館及び各市町村役場でも閲覧できます。

ホームページアドレス：<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=20348>

・郵送をご希望される方は、下記4の問合せ先までご連絡ください。

■島根県側

・県ホームページ(パブリックコメント・環境政策課ホームページ)からダウンロードできるほか、県政情報センター(県庁総務課情報公開グループ)、県政情報コーナー(各県民センター・隠岐支庁県民局)、各保健所、宍道湖・中海流域市町窓口でも閲覧できます。

パブリックコメントホームページアドレス：<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/koho/come/>

2 応募方法

■鳥取県側

・電子メール、郵送又はファクシミリでお寄せいただくか、意見箱への投函(上記県の機関)及び市町村役場窓口のいずれでも応募できます。※様式は自由です。

■島根県側

・電子メール、郵送、ファクシミリのいずれかの方法でお送りください。

※様式は上記1のホームページ等から入手頂けます。

※電話によるご意見は受け付けておりませんので、ご了承ください。

3 結果の公表

いただいたご意見への対応については、とりまとめて各県ホームページ等で公表します。

4 問合せ先

鳥取県生活環境部くらしの安心局水環境保全課(水環境担当)

郵 送：〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目220

電 話：0857-26-7870

ファクシミリ：0857-26-8194

電子メール：mizukankyuhozen@pref.tottori.lg.jp

ホームページ：<https://www.pref.tottori.lg.jp/mizutaiki/>

島根県環境生活部環境政策課(宍道湖・中海対策推進室)

郵 送：〒690-8501 島根県松江市殿町1番地

電 話：0852-22-6445

ファクシミリ：0852-25-3830

電子メール：kankyo@pref.shimane.lg.jp

ホームページ：https://www.pref.shimane.lg.jp/shinjiko_nakaumi/

中海エコ活動レポートに掲載する記事、イベント情報、写真を募集しています！

あなたの活動を記事にしませんか？お気軽に下記連絡先に御相談ください。ホームページではこれまでのバックナンバーを公開しています。

編集・発行者

■鳥取県西部総合事務所

生活環境局環境・循環推進課

住 所：〒683-0054

鳥取県米子市鞆町一丁目160

電 話：0859-31-9322

電子メール：seibuseikatsukankyo@pref.tottori.lg.jp

ホームページ：<https://www.pref.tottori.lg.jp/69208.htm>

■島根県環境生活部環境政策課

宍道湖・中海対策推進室

住 所：〒690-8501

島根県松江市殿町1番地

電 話：0852-22-5279

電子メール：kankyo@pref.shimane.lg.jp

ホームページ：http://www.pref.shimane.lg.jp/shinjiko_nakaumi/